

ごあいさつ



東亜建設工業は、今年2008年に創業100周年を迎えることができました。この間、産業活動や社会生活を支える基盤施設を建設することを生業とし、社是に掲げる「高い技術をもって、社業の発展を図り、健全な経営により社会的責任を果たす」という趣旨を真摯に追求することで、市場原理の中で成長し、社会貢献を果たしてきました。

しかしながら、社会資本の整備が進み経済の成熟度が増すにつれ、社会の価値観も変化し、社会の一員たる企業は、多様な視点でより高い水準の責任を果たすことが求められています。

その基本が、社会のルールや倫理の尊重です。当社は、1998年に独占禁止法コンプライアンス委員会を設置し、組織として法令順守を徹底する体制を整え、さらに、2006年に「企業行動規範」(10か条)を定め、それを東亜グループ全員で共有することにより、社会倫理を尊重した企業活動と、透明性の高い経営を追求しています。2008年4月からは、コンプライアンス委員会を発展させたCSR委員会を設置し、企業の社会的責任の一環として、より質の高いコンプライアンス活動を目指しています。

「持続可能な社会」に必要な「環境との共生」の目標に向けては、自然に産するものを利用し、自然に何らかの手を加えるという建設行為を本業とする企業として、環境に与える負荷が小さい工法や、環境を再生するための技術の開発に取り組んでいます。また、「地域社会との協調」につきましても、全国に施工現場を展開し地元の方々とともに仕事をする企業として、地域の皆

様と誠意をもって接し良好な関係を築くよう努めています。

さらに、「安心安全な社会」を実現する担い手として、「無事故無災害」を究極の目標として職場の安全衛生活動に日頃から真摯に取り組み、併せて、諸法令・諸規則に則った内部統制・リスク管理体制や、事業継続計画(BCP)に基づいた危機管理体制を整えています。

このような「企業の社会的責任」に対する当社の姿勢や取り組みを、より多くの皆様にお知りいただきたく、昨年度までの「環境報告書」を改め「CSR報告書」を作成しました。限られた頁数ですので当社の主なCSR活動の記述に限られていますが、「社会から信頼される存在として、社会とともに歩み成長し続けたい」という私どもの決意をお汲み取りいただき、今後とも、ご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。



代表取締役社長
鈴木 行雄